

秩父 市議会だより

第31号

発行
秩父市議会
編集
市議会だより編集委員会
秩父市議会事務局
☎ (72)2122
FAX (77)1010
URL <http://www.city.chichibu.lg.jp>



🏠 🏠 🏠 🏠 「ぶこう学童保育室」 🏠 🏠 🏠 🏠

🌸 「ただいま〜」 「先生、先生あのねえ・・・!!」 と
🐘 元気な声で学童が始まります。

🏠 外でサッカー、鬼ごっこ・・・ 🏠 🏠 🏠 🏠 🏠 🏠

🌸 冬だというのに髪の毛は汗でおでこにはりついています。

🐘 30^{なん}男20^{じょ}女の兄弟姉妹パワーで 毎日、熱い、暑い学童です。

12月 定例会

審議した議案等の結果

議案等の番号	議案等の件名	議決結果	会派の態度					
			市民ク	彩政会	共産党	公明党	新風	無会派
第 50 号	平成23年度秩父市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	×	○	○	○
第 51 号	平成23年度秩父市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	×	○	○	○
第 52 号	平成23年度秩父市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	×	○	○	○
第 53 号	平成23年度秩父市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	×	○	○	○
第 54 号	平成23年度秩父市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○
第 55 号	平成23年度秩父市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○
第 56 号	平成23年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○
第 57 号	平成23年度秩父市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○
第 58 号	平成23年度秩父市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○
第 59 号	平成23年度秩父市水道事業決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○
第 60 号	平成23年度秩父市立病院事業利益の処分及び決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○
第 78 号	専決処分について（平成24年度秩父市一般会計補正予算（第3回） 衆院選実施に伴う人件費等の補正	承 認	○	○	○	○	○	○
第 79 号	名誉市民の推挙について 旧吉田町長の落合幾三氏を名誉市民に推挙	同 意	○	○	○	○	○	○
第 80 号	名誉市民の推挙について 旧吉田町長の猪野正一氏を名誉市民に推挙	同 意	○	○	○	○	○	○
第 81 号	名誉市民の推挙について 旧大滝村長の山口民弥氏を名誉市民に推挙	同 意	○	6/7	○	○	○	○
第 82 号	名誉市民の推挙について 旧荒川村長の宮崎哲夫氏を名誉市民に推挙	同 意	○	○	○	○	○	○
第 83 号	平成24年度秩父市一般会計補正予算（第4回） 名誉市民の功績を顕彰するにあたり所要の経費を補正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 84 号	秩父広域市町村圏組合の規約変更について 障害者自立支援法の一部改正に伴う規約の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 85 号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について 白岡町の市制施行及び蓮田市白岡町衛生組合の名称変更に伴う規約の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 86 号	秩父市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 住居手当、時間外勤務手当等の算出等についての所要の改正	原案可決	○	○	×	○	○	×
第 87 号	秩父市災害対策本部条例の一部を改正する条例 災害対策基本法の一部改正に伴う条文の整理	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 88 号	秩父市防災会議条例の一部を改正する条例 災害対策基本法の一部改正に伴う所要の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 89 号	秩父市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 消防団員の定員の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 90 号	秩父市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例 技術管理者の資格基準を定めるための改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 91 号	秩父市下水道条例の一部を改正する条例 公共下水道の構造の基準等を定める改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 92 号	秩父市戸別合併処理浄化槽条例の一部を改正する条例 下水道法の一部改正に伴う事業区域の名称変更	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 93 号	秩父市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例 医療費の支給方法の変更等に伴う条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 94 号	秩父市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 医療費の支給方法の変更に伴う条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 95 号	秩父市営土地改良事業賦課金徴収条例の一部を改正する条例 土地改良法の一部改正に伴う条文の整理	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 96 号	秩父市暴力団排除条例 暴力団排除活動の推進に関し基本理念等を定める条例の新規制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 97 号	秩父まつり会館条例 秩父まつり会館の円滑な運営を図るための条例の新規制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 98 号	平成24年度秩父市一般会計補正予算（第5回） 人件費の過不足の調整による補正等	原案可決	○	○	×	○	○	×

12月 定例会

審議した議案等の結果

会派の態度					
市民ク	彩政会	共産党	公明党	新風	無会派
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

議案等の番号	議案等の件名	議決結果
第99号	平成24年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第2回) 人件費の過不足の調整及び保険給付費の補正等	原案可決
第100号	平成24年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第2回) 人件費の過不足の調整による補正等	原案可決
第101号	平成24年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第2回) 人件費の過不足の調整による補正等	原案可決
第102号	平成24年度秩父市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2回) 人件費の過不足の調整による補正	原案可決
第103号	平成24年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第2回) 人件費の過不足の調整による補正	原案可決
第104号	平成24年度秩父市水道事業会計補正予算(第2回) 人件費の過不足の調整による補正等	原案可決
第105号	平成24年度秩父市立病院事業会計補正予算(第1回) 人件費の過不足の調整による補正	原案可決
第106号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
第107号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意

○賛成
□賛否
※賛成人数/会派人数
×反対

市民ク (市民クラブ 9名)
彩政会 (彩政会 7名)
共産党 (日本共産党秩父市議団 4名)
公明党 (公明党 2名)
新風 (新風 2名)
無会派 (会派に属さない議員 1名)
※議長は会派人数に含まれていない。

※賛否が分かれた議案について

議案第81号「名誉市民の推挙について」は、会派の中で賛否が分かれました。
彩政会7人のうち6人が賛成(金田安生議員は反対)という結果になったため、6/7と記載してあります。

●市議会を傍聴してみませんか●
3月定例会の予定

各日、午前10時開会予定

日 程	議 事
2月22日(金)	開会、議案説明
27日(水)、28日(木)	議案に対する質疑
3月1日(金)、4日(月) 5日(火)	一般質問
7日(木)	委員会
13日(水)	委員長報告、採決、閉会

- ※ 議場は、吉田総合支所の3階です。
- ※ 日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合もありますので、傍聴の際は、議会事務局へお問い合わせください。
- ※ 委員会の傍聴は、事前に許可が必要です。

人権擁護委員候補者
関田 幹子(上影森)
濱田 佳代子(桜木町)

人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

●人事案件

11月8日付けで、金田安生議員が総務委員会の委員に就任し、逸見英昭議員が建設委員会の委員に就任しました。
また、11月30日付けで、金田安生議員が秩父広域市町村圏組合議会議員に選出されました。

常任委員会の委員の就任および
広域市町村圏組合議会の議員の
選出



「秩父市ホームページ」から「秩父市議会」を選択し「インターネット録画中継」を選択するか、下記のように検索すれば、左のようにインターネット中継のページが表示されます。

インターネットで
議会を傍聴しませんか
本会議の初日(議案説明等)、議案に対する質疑、一般質問、本会議の最終日(採決等)の映像を、インターネットで録画中継しています。ぜひご覧ください。



各常任委員会の報告

総務委員会

12月定例会で付託された議案8件について報告する。

◆秩父広域市町村圏組合の規約の変更

◆埼玉県市町村総合事務組合の規約の変更

○以上2件は原案のとおり可決

◆一般職職員の給与に関する条例の一部改正

問 この条例に係る関係するとして、休日勤務の対応について、同一週に振り替え休日を取得する場合と、他の週に取得する場合は、労働対価が違うのか。

答 休日勤務の対応については、労働基準法で定める1週間の勤務時間は40時間であるが、それ以上働かせる場合は割増賃金を払わなければならない。1週間の勤務は、必ず土日は休みという事ではなく、1週間の労働時間が土日に関係なく40時間（公務員の場合38時間45分）以内であれば、あえて時間外手当を出す必要はない。

問 持ち家手当を廃止している自治体の状況は。

答 県内8割以上の自治体で廃止となっており、秩父郡内でもすでに廃止となっている。

意見 労働の対価が、振り替え休日を取る週によって異なるのは、納得できないので反対する、との

意見が出された。
○挙手多数により可決

◆災害対策本部条例の一部改正

◆防災会議条例の一部改正

◆消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

問 消防団員の定員を減らす事が正しい事なのか。

答 現在の定員は1231人と決まっているが、現状は1051人であり、定員確保目標でもある1100人にするものである。

意見 市の職員が消防団に、積極的に参加・入団することを強く求める、との意見が出された。

◆暴力団排除条例

◆24年度一般会計補正予算（第5回）

問 旧秩父セメント跡地道路設計委託料の内訳は。

答 最も安全かつ経済的な道路の計画を作成するために、予備設計について警察、県土整備事務所審査を受ける。企業誘致を早く進めるためにも、今回の補正で、審査後の詳細設計図作成を委託するものである。その後は、用地買収や補償に入っていく。

また、道路の工事とあわせて、水道、排水、電気、電話等のインフラ整備を含め、平成28年度に完成したい。

○以上5件は原案のとおり可決

建設委員会

12月定例会で付託された議案2件について報告する。

◆24年度一般会計補正予算（第5回）

問 中央通り線街路整備事業の物件移転の場所はどこか。

答 本町地内の本町ギヤラーから岡部医院までである。

問 市営住宅の樹木整枝剪定業務は、定期的に行っているのか、それとも今回は特別なものか。

答 樹木整枝剪定は、定期的に行っているが、今回の剪定場所は高木が多く、特別に専門業者に発注する。

◆24年度水道事業会計補正予算（第2回）

問 白岩浄水場装置更新事業の内容容および給水人口について。

答 この浄水場の浄水処理方法は、小型浄水装置による急速濾過方法で処理しているが、この装置が35年経過し、老朽化したため、計測機器等を含め、全面更新する。給水人口は、白岩、川久保、室久保、横田倉、松葉方面で約150人である。

問 給与費明細書の損益勘定支弁職員と資本勘定支弁職員の内容について。

答 損益勘定に係る職員は、損益に係るその年度で費用化する維持

管理等に係る業務課の人員費であり、資本勘定に係る職員は、固定資産になる工事の設計等、それによって取得した施設の原価償却費として費用化される業務にたずさわる工務課、浄水課の職員の人員費である。

問 債務負担行為の内容について。

答 常習化している水道料金の未納者の滞納整理等の業務委託であるが、従来の単年度の委託より継続性を持って効率的な整理が出来るよう3か年の長期契約とする。

問 受託の対象業者の件数は。

答 市内の給排水設備指定工事店組合に加入している業者を対象に意向調査をしたところ、3社から希望が出ている。

問 常習化している未納者の個人件数、法人件数は。

答 督促状の発送、停水通知の発送により最終的に残ってくるのが20件から30件である。未納者は、個人、法人ともであるが、業者には個人分を委託し、法人分は、水道部で対応している。



街路整備事業の中央通り線の現状

○以上2件は原案のとおり可決

各常任委員会の報告

生活産業委員会

12月定例会で付託された議案9件について報告する。

◆廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

◆下水道条例の一部改正

問 条例改正で下水道排水管の勾配を100分の1から100分の2にすると水だけ流れてしまう問題はどうか。

答 流速が毎秒3m以上になると水だけが流れてしまい汚物が残る可能性があるが、勾配が100分の2では流速がそれほど早くなく問題はない。

◆戸別合併処理浄化槽条例の一部改正

◆市宮土地改良事業賦課金徴収条例の一部改正

◆秩父まつり会館条例

問 平成17年の合併から今日に至るまでの、秩父まつり会館の財産上の変遷と、第15条の指定管理者の可能性をふまえた今後の取り扱い。

答 合併までは行政財産であった。その後、第三セクターへ貸し付けるために普通財産となり、今日に至っている。将来は指定管理者による管理となる可能性もあるが、来年度の4月1日から当面は、行政財産として市の直営でしっかり運営していく。

◆24年度一般会計補正予算(第5回)

問 遊休農地耕運作業補助金の対象は。

答 500㎡以上の遊休農地の耕作が対象になる。

問 秩父まつり会館の空調設備改修工事の内容は。

答 今までは建物全体を1つの機械で冷暖房を行っていた。今回の改修工事は各展示場や事務所等、個々に空調設備を設置する。この方が今後の修理が安くすむ。

◆下水道事業特別会計補正予算(第2回)

問 管渠築造事業の4千万円減額の理由は。

答 本工事の合流改善工事は、1億円を予定していたが、予定していた国庫支出金が減額されたため、24年度は6千万円の事業のみを行い、これは地方債でまかなう。実施出来なかった4千万円分は、来年度の継続事業として実施したい。

◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第2回)

◆戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第2回)

○以上9件は原案のとおり可決

文教福祉委員会

12月定例会で付託された議案6件について報告する。

◆子ども医療費支給に関する条例の一部改正

◆ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部改正

問 秩父郡市外の医者にかかった場合はどうなるのか。

答 範囲は医療医師会単位であり、今回の窓口払い廃止については秩父郡市1市4町の医師会が対象になる。

問 安易に診療を受ける人が増えるのではないか。

答 この関係で医師に話をうかがったところ、子どもは夜に熱が出る場合も多く、今後は夜間診療が増えることも予想できる。また、安易ではなく症状が軽い時点で医者にかかるケースが増えることも考えられ、その場合は逆に医療費が抑えられるかもしれない、とのことであった。広報活動としては、新しい受給者証をみなさんに発送する時に「安易な受診はひかえてください」という主旨のお知らせを入れさせていただくほか、市報に同様の内容を掲載することも考えている。機会あるごとにみなさんに呼びかけていくつもりである。

○以上2件は原案のとおり可決

◆24年度一般会計補正予算(第5回)

問 保育所の職員の関係で、臨時

職員の賃金を減らして、パートタイマー職員の報酬を増やしたとの事だが、どのような状況か。

答 当初、臨時職員を30人、調理師を含めたパートタイマー職員を80人雇用しなければならぬ状況であった。その予定で募集をかけたが、なかなか臨時職員が見つからず、現時点で20人である。理由としては、主婦の場合は、扶養の範囲内で働きたく、パート勤務の希望が多いこと。若い人の場合は、結婚や妊娠等により途中で辞めることもあるなど、臨時職員が増えていかないのが現状である。現在の人数は、パートタイマーが108人、臨時職員が20人である。保育士の資質の向上や健全な勤務の確保等のためには、もう少し正規職員が必要であると認識しており、努力はしているが、現状としてこのような形で対応させてもらっている。

意見 学校給食は自校方式が望ましいと主張してきており、給食業務を民間業者に委託するという方法には賛成できない。そのため、荒川共同調理場の民間委託契約を計上してあるこの補正予算には反対する、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆24年度国保特別会計補正予算(第2回)

◆24年度介護保険特別会計補正予算(第2回)

◆24年度市立病院事業会計補正予算(第1回)

○以上3件は原案のとおり可決

議会改革特別委員会

議会の組織・運営等に係る調査、研究として11月5日および21日に委員会を開催し、以下の項目を協議した。

【予算特別委員会について】

10月23日に加須市議会と久喜市議会を視察した。各委員の意見と結論をとりまとめた。

意見

委員会の構成が複雑になり、会期日程が長くなる。現状の委員会の中で予算審査を充実させる方向で考えるのがスムーズにいく。設置する、設置しないにしてもどちらも一長一短がある。

会期の設定が問題である。

議員定数が22人になったときの常任委員会の数の絡みが解決されないと決めにくい。

各委員の意見を聞いていると予算審査特別委員会の設置は非常に難しいと感じた。議員定数が22人になり、常任委員会数も3委員会となる方向にある。委員会の数が決まった後に、常任委員会の委員の複数所属との議論が出てくる。複数の所属になった場合には、偶数委員会にならなければいけない。この時にもう1つ委員会を加える案として、「予算・決算の常任委員会」を設置しては、と思う。

結論

現在の常任委員会の審査の中で、議論が活発にできるよう中身の充実を図っていく。との結論に達し、今回は、予算審査特別委員会の設置については見送ることに決した。

【議会報告会について】

平成24年5月20日の日曜日の午後、第1回を開催したが、平成25年度は5月17日金曜日の夜間に実施することが確認された。

(この件では、第1回目(5月)の行楽時期の日曜日の午後ということ(この件では、第1回目(5月)の行楽時期の日曜日の午後ということ)で人が集まりにくいとの声もあつたこと、試行的に開催することから次回は、平日の夜間に開催することになった。)



加須市議会視察の様子

決算審査特別委員会

去る9月定例会で、平成23年度秩父市一般会計、特別会計歳入歳出決算および、企業会計決算の認定について、計11件の決算に関する議案が上程された。その審査の重要性を考慮し、決算審査特別委員会を設置され、市議会各派から議員8人が選ばれた。9月～11月の3か月にわたって委員会を開催し、議案を審査した。審査の主な内容について報告する。

◆一般会計決算

意見 市民税や固定資産税などを払えない人がたくさんいる。市民にとって重い税負担である。また、適法に処理されているが、不用額が多いし、市政のためになる事業を本当にやっているのか疑問を感じる。この決算に反対する、との意見が出された。

○挙手多数により認定

◆国保特別会計決算

意見 健康保険税の負担感が大きく、繰出金の扱いについても疑問があると思われるので賛成できない、との意見が出された。

○挙手多数により認定

◆後期高齢者医療特別会計決算

意見 お年寄りを排除するような後期高齢者医療制度そのものを認められない、との意見が出された。

○挙手多数により認定

◆介護保険特別会計決算

意見 この制度そのものに問題がある、との意見が出された。

○挙手多数により認定

◆下水道事業特別会計決算

◆農業集落排水事業特別会計決算

◆戸別合併処理浄化槽事業特別会計決算

問 条例改正で、市は使用料のみを徴収しているように思われるがどうなのか。

答 故障等の場合、下水道課に連絡すれば、職員や保守点検業者が現地確認し対応する。

◆公設地方卸売市場特別会計決算

問 市場が老朽化しているが、今後をどのように考えているのか。

答 全国的に市場の老朽化が問題になっているが、今のところ活用できる補助金が出ないかと、要望書を提出している。

◆駐車場事業特別会計決算

問 三峰駐車場の今後は。

答 改修工事が終了したら、一般会計に移行したいと考えている。

◆水道事業会計決算

問 水道料金を統一したが苦情は。

答 苦情はない。

◆市立病院事業利益の処分および

問 院内保育の定員と対象は。

答 定員10人で、市立病院の医療職員だけが対象である。

○以上7件は認定

一般質問

聖地公園整備について

市民クラブ 荒船 功

問 養豚場跡地を含めた今後の公園整備計画は。

答 聖地公園は、清楚にして風格があり、心安らぐ墓所の提供と維持管理に努め、観光活動にも力を注いでいる。公園内の桜、ナツズイセン、百日紅、彼岸花等の開花情報をホームページに掲載、メモリアルホールのおープンルームでは、中央公民館受講生の皆さんの協力を得て、絵手紙展や写真展、水彩画展等を常時開催。観光パンフレットコーナーを設けるとともに更衣室や姿見を設置して、墓所利用者の約7割が市外居住者なので、墓参りのあと秩父の観光を楽しんでもらえる努力をしている。墓所利用者は何処に住んでいても秩父を応援してもらえ応援団だと考えている。

聖地公園利用者が遠方への転居のため、お墓も居住地近くに転居せざるをえない等の理由で、年間100か所程度の墓所の返還・改葬がある。返還で更地になった墓所を遺骨を持っている方に新規に貸し出している。

今後も聖地公園をより一層整備して、秩父の応援団を増やすこと



聖地公園

は秩父市の発展に寄与すると考える。しかし、少子化傾向、都立霊園等墓所の供給量増加、新しい形態・形式の開発を考慮。多くの家族連れで心和む児童交通公園の遊具老朽化など、移設の可能性を含め公園整備を慎重に検討していきたい。

政策提言から

市民クラブ 江田 治雄

問 市立病院の充実について。市内の産科医院が閉院となり岩田産婦人科の1か所となってしまう。市立病院へ産科設置は可能か。

答 秩父地域の産科医療は大変厳しい状況である。近隣の大病院に産科医師の派遣を強くお願いしている。さらに郡市首長・秩父郡市医師会・公立病院長等の連名で「秩父地域産科医療確保に係わる要望書」を埼玉県知事に提出したところである。

問 増え続ける鳥獣被害対策の行政の取り組みは。

答 イノシシ・ニホンジカは埼玉県の特定鳥獣に指定され、何を食べているかを調査する目的で捕獲した際に胃袋の内容を報告する業務委託を受けている。1頭当たり6510円が支払われている。猿については特定鳥獣に指定されていないので、県に要望をしている。駆除については、現在も猟友会の協力を得て実施している。さらに農政担当による長年の試行錯誤により、効果が見え始めた電気柵等の予防対策を引き続き講じていく。

問 教育関連について。荒川東小学校家庭をモデル校に指

定し芝生化できないか。

答 今年度荒川東小学校で一部テプトン芝をテスト的に植栽した。この芝は、発育が早く繁殖力も強く校庭に適した芝である。来年度校庭西側に土砂流れ防止対策も兼ねて校庭の一部を芝生化にする。



荒川東小学校の一部芝生化の様子

◎森林と水を守る施策について
◎職員給与について(管理職手当・残業時間の管理について)

一般質問

秩父エコタウン構想の推進

市民クラブ 浅海 忠

問 太陽光発電の取り組みで、事業所や家庭の補助制度はどうか。

答 地産地消型のエネルギーへの取組として「秩父試験地のほ場」へのメガソーラー事業者の公募を行い、「エルゴ サン ジャパン(株)」が事業者として選定された。民間事業者が売電目的で行う太陽光発電への補助は無いが県の「環境みらい資金」のような低利融資制度があるので情報提供を行っていく。一般家庭への補助金は今年度5月21日から25日までの間で事前申込みを受け、49件の申請があった。締め切った後の希望者の対応として、今後、公平に補助金交付ができるよう事前広報や募集方法の複数化を検討し、運用を工夫したい。

●ミューズパーク森のキャンパスアドベンチャーコースの活用

問 これまでの3年間、ほとんど宣伝や広報が出来ていないうえ、市長以下ほとんどの幹部職員が体験していなかった。今後の積極的な活用を求めていきたい。概要とこれまでの実績は。

答 21年4月から教育・研修施設

として有料施設で開設した。小学生から一般成人までを対象に「グループで考え協力し合い、楽しみながら体験することが出来る」丸太や板を材料にした木造の屋外施設であり、利用には、ファシリテーターという「支援者」が付き添い、活動が安全に行えるよう、お互いが効率的に学び合うことができる体験施設である。年間で500人前後が利用している。



森のキャンパスアドベンチャーコースでの議員研修会

市政の現状、施策等について

新風上 林 富夫

問 今議会にたまたま議案提出されているが、市民から非常に批判が多く私も何度が廃止を一般質問で要求し、国家公務員は数年前に廃止した時代錯誤の「職員持家手当」は来期から廃止のようだが現在何人に支給され年額はいくらか。

答 約240人、計約650万円。
問 来年度新規採用市職員等について採用職種等の内訳は。

答 身体障がい者を含む一般職6人、保育士2人、管理栄養士1人等の計10人が最終合格者に決定。

●市税について

問 近年、形を変えた脱税である問題になってきている外国人の国外居住者扶養所得控除があるが国外の居住者や日本国籍を有しない者でも所得控除の対象であるとのことだが、市在住外国人による国外居住扶養控除認定数は何人か。

答 24年度認定の外国人の所得申告による国外居住者等の扶養所得控除数は195人と思われる。

問 市職員および他公務員等の市税滞納はあるか。

答 11月現在、市職員1人が固定資産税2件と軽自動車税1件。市

秩父市環境保全条例
第41条(飼い犬の糞害等の防止)
 飼い犬の所有者等は飼い犬のしつけを行うとともに飼い犬を公共の場所等で運動させる場合は糞等を適正に処理する為の用具を携行し公共の場所等を汚した時は他人に迷惑を及ぼさないよう、直ちに処理しなければならない。

飼い犬に関する条例

●動物飼育管理について(9月議会に続き市民からの要請質問)
問 狂犬病予防注射を受けていない犬が秩父市には約1千頭以上いるが法令指導等はしているか。
答 法律で所有者は年1回予防接種が義務づけられており違反者には20万円以下の罰金規定がある。

一般質問

彩政会の政策提言①

彩政会 金田安生

問 日本経済は東日本大震災を境として急激な景気後退、加えてEU問題が加わり事態は更に悪化の方向にある。秩父市は市民サービスと防災の中心拠点施設となる市役所の建設が控えている。この施設建設費の影響で市民サービスに影響ないよう資金計画の事前検証は慎重に行うべきである。

答 今、市民が最も求めている政策は企業誘致や企業育成の具体的成果である。8年前の合併の主目的を思い起こし、今後の厳しい市財政の健全化に向けて、経費削減を図るといった目的に合致した行動の徹底を再確認すべきである。

幅広く「あれも、これも」と市民の期待する要望項目を羅列しても、限られた財源の中で応えきれないことを考え、市民の期待の特に重い項目や市政の将来に大きく影響する問題を重点に置いて、ここでは「行財政改革」について数項目提案するが、その見解は。

答 「公共資産・施設」の運営・管理については「ファシリテイマネジメント」を行い、量と質の改革、歳入確保に重点を置き、職員の適正配置も行って、改革を進め



彩政会政策提言書

たい。「市営事業や助成金」については、必要かどうか「そもそも論」から考え、公的関与の妥当性を見直し、サービスの受益者だけでなく納税者の声を聞く事も必要と考える。また、「第3セクター」については、統合よりも独立採算の安定運営を目指すべく、働きかけていく。

彩政会の政策提言②

彩政会 小池治

問 秩父セメント第一プラント跡地への企業誘致の進捗はどうか。

答 大手先進企業を対象に、提案活動を継続的に実施している。結論は相手待ちであるが、秩父鉄道の旧引込線の利用提言や関連企業の集積に対し、先手を打つなど着実に取り組んでいる。

問 企業誘致功労者への報奨制度の設置、企業・工場等を誘致できる土地情報の収集と整理によるリスト作り、環境配慮を優先する企業を誘致するためのブランドイメージ作りの進捗はどうか。

答 事業推進アドバイザーを委嘱したり、空き用地、空き工場等の登録制度による情報提供や、「豊かな自然環境」を背景に、リスク分散の観点からみたメリットなどをアピールしている。

問 秩父山系で、野生鳥獣の個体数調査を実施したことがあるか。

答 埼玉県に確認したところ、調査方法も難しく、正確な個体数の把握はできていない。

問 害獣捕獲に対する報奨金は、市と県の予算合わせて1152万8千円の支援を行って、できるだけ限りの支援を行っていく。

問 秩父セメント第二プラント跡地の腰田堀以西の構想について

答 腰田堀以西の構想の中に、伝統芸能仮説舞台設置は含むか。

答 秩父市の「歴史・文化のシンボリックゾーン」として、旧大宮学校の活用などと共に検討中である。



平成秩父座仮設舞台

- ◎ 商店街再生、林業再生について
- ◎ 遊休農地活用について
- ◎ クリーンエネルギー政策

一般質問

彩政会の政策提言③

彩政会 高野 宏

問 抜本的な観光客誘致を目指した、新たな観光資源開発を担当する広域的戦略チームの設置は。

答 現在、1市4町が連携し「株父地域おもてなし観光公社」を設立し、滞在型観光・外国人誘客の推進を柱とした観光政策を進めており、NPO団体や有識者を交えた協議会等を組織し事業展開を図っている。また、市民や来訪者の方々にモニターとなって頂き、先進事例を参考にし「おもてなし観光」を積極的に推進する。

問 「株父市パワースポット」の選定と広報・PR活動について。

答 今年度、地域活性化センターの助成を受け、秩父商工会議所が「願い石巡礼」という形で、現在12か所のパワースポットをアピールしている。また、再来年の秩父札所^{（まじり）}午年総開帳への誘客を意識して、「秩父札所サイクル巡礼」のほか、「秩父札所ウルトラマラソン」の企画も進んでいる。

問 国道299号（相生町）株父橋間）歩道整備の進捗状況は。

答 秩父橋から下郷大堀付近の区間について県土整備事務所による2回目の事業説明会が開催され、

関係者の賛同を得、平成25年度より用地買収に着手の予定である。



歩道の早期整備が待たれる
国道299号下郷地区

●危機管理について

- ◎災害被害想定について
- ◎一時避難場所・避難所について
- ◎弱者の交通安全について
- ◎防犯灯について

彩政会の政策提言④

彩政会 五野上 茂次

●教育環境の整備

問 高篠中学校校庭拡張・吉田中学校の更なる校庭整備について。

答 測量費や用地の購入費等かなりの財政負担がかかる現状を鑑みて、市内各小中学校の耐震化が終了する平成26年以降に実施していきたい。また吉田中学校については、先ずは危険性の高い校庭南側フェンスの工事を実施する。今後教育環境の整備に努めていく。

問 日本の領土問題の正しい教育知識のありかたについて。

答 我が国の国土と歴史に対する理解を深めさせ自信を持てるようにすることは大変大事だと思う。北方領土、竹島、尖閣について今後も正しい愛国心を芽生える教育を推進していく。

●市職員の定年制度

問 市は非常に裏腹な立場（人員削減と65歳定年制）にある。世間の動きは65歳定年制に向かっているが市の考えは。各セクションの適正な人員配置は。高篠、太田など少人数でも管理ができ、市民サービスもクレームを聞いた事がない。市民数も合併当時から4千

人以上減少している。議員定数も合併当時60数人が30人、現在は26人で、次回は22人と大幅に改革している。市の人員削減政策はどうか。

答 平成25年度から段階的に3年で2歳ずつ引き上げられ平成37年度に65歳に引き上げられる。職員の適正配置は重要な課題で、職場ごとにヒアリングを行い把握に努めている。職員削減に対しては非常に厳しい状況にある。



整備が必要とされる吉田中学校の校庭

一般質問

平成25年度政策提言から

市民クラブ 竹内勝利

問 国道140号大滝トンネルおよび県道久長秩父線蒔田トンネル整備について。

答 大滝地区では、災害が発生し危険性の回避や通行の安全性を確保するためには、荒川・大滝間のトンネル建設は有効でかつ時間短縮にもなり、早期に整備する事は重要な事であると考えている。秩父市内への市民の通勤通学道路であるとともに秩父みどりが丘工業団地へのアクセス道路としても重要と考えられる。今後引き続き国、県および関係機関に対し、市ならびに期成同盟会から強く要望を続けると共に、早期実現化に向けて事業の推進に取り組みでいきたいと考えている。

問 秩父祭のユネスコ無形文化遺産への登録について。

答 「秩父祭については、更なる情報照会を求めるとの見解を発表し、市としては、その方針を踏まえながら、引き続き「無形文化遺産」登録に向けて、文化庁と協力していく考えである。

問 龍勢まつりの国指定文化財への登録について。

答 文化財とは、わが国の歴史、

文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであり、かつ、将来への文化の向上発展の基礎をなすものである。教育文化庁から問い合わせが来た際に対応できるよう、吉田龍勢保存会や龍勢の国指定文化財をめざす協議会へ、神社の歴史や龍勢の変遷、民族文化財としての特色が明らかになるような資料の収集をお願いしているところである。

秩父の祭



秩父地域の産科の現状と対策

公明党 福井貴代

問 産科の現状と今後の対策は。

答 24年末に虹の橋クリニックが閉院することで、秩父郡市内で分娩できる施設は岩田産婦人科医院だけとなってしまふ。秩父地域の昨年度の出生数が約750人。このうち岩田産婦人科医院の分娩件数が400人弱。450人が上限であり、300人〜350人の方が秩父地域ではお産ができないことになる。現在、秩父近郊の産婦人科医療機関に患者の受け入れを依頼するとともに、産科医療機関の一覧表を作成し、患者さんへ周知。秩父消防本部にも出産時における救急搬送の増加への対応を要請。また埼玉医科大学病院と埼玉医大総合医療センターより、今年10月から2回、岩田産婦人科医院に産科医を派遣していただき、更に回数を増やしていただけるよう依頼している。岩田産婦人科医院では受け入れ強化のため、来年8月末に3床増床する事業を進めている。虹の橋クリニックでも、条件が整い次第再開することを望んでおり、再開に向け必要な支援をしていく。

問 市立病院への産科設置は。

答 近隣の大学病院に産科医師の派遣を要請したが、常勤医師の派遣は大変難しいとの回答。全国的な産科医不足の影響もあり、確保の目途は立っていない。

問 助産師外来導入への見解は。

答 嘱託医との連携や助産師の増員等、慎重な検討が必要であり、現状では難しい。



安心な出産を支える地域の産科医

- ◎こころの体温計導入について
- ◎小中学校の暑さ対策について
- ◎消費者教育の推進について

一般質問

レアメタル等の回収・リサイクルについて

公明党 大久保 進

問 小型家電リサイクル法が成立したが、市の取り組みについて。

答 使用済み小型電子機器等からのレアメタル等の回収・リサイクルについては、秩父広域組合ですで行っており、事業形態も今の法律で定める制度の処理ルートに形になっているので市で独自に回収は行わない。

問 市のイベント会場に回収ボックスをおいて、回収できないか。

答 イベント会場に、回収ボックスを設置し、小型電子機器等を回収できるシステムの構築については、秩父広域組合を中心に、他の4つの町とも調整を図っていく。
問 市民への普及・啓発について。
答 広報紙、ホームページを活用し、積極的に呼び掛けていく。

●骨髄ドナーの継続的確保

問 骨髄ドナー登録者に助成制度が創設できないか。

答 日本赤十字社（骨髄データセンター）や各都道府県等（保健所）の協力を得てドナーと患者の登録や移植を行っている。せっかく登録しても、骨髄バンクの調整が開された段階で、調整が終了して



ゴミではなく宝の山

しまう割合が約50%近い状況である。理由は健康上の理由で、次に都合がつかない、仕事が休めない等の理由である、しかし現実にはかなりの負担がかかるため、全国でもいくつかの自治体が助成制度を開始した。当市での助成制度については、早期の実施は難しい状況であるが、先進地の状況の把握と、周辺の自治体の状況を見ながら検討していく。

吉田地域の土砂たい積について

日本共産党秩父市議団 新井 康一

問 吉田の字柳久保で大規模な土砂の埋め立てが行なわれている。搬入予定量は約11万立方メートルというところで、毎朝10数台の大型ダンプカーが橋倉地内のフルーツ街道で道路の1車線をふさいで待機しており、危険だし、相当な量の土砂が搬入されているようで、地域の人は皆野町金沢と同じようになったら大変と心配している。

あの場所が崩落すると鉢久保林道だけでなく、県道皆野両神荒川線までふさがくことにもなりかねない。今年から業者が変わり、面積が1万平方メートルを超えたため管轄が環境管理事務所から農林振興センターになった。地元の話では、以前の業者の時には環境管理事務所が時々来ていたが、今回の業者になってからは、あまり来っていないようだ。農林振興センターはきちんと指導しているのか、市はどのように把握しているのか。

答 柳久保の林地開発は24年4月16日に、災害や事故の防止に万全を期すこと、土砂以外の搬入・埋め立ては行なわないこと、林地に被害を及ぼさないこと、などを条件に市の意見も踏まえて県が許可

●産科医の現状と対策

問 虹の橋クリニックが24年内で閉院するというが、秩父地域の産科医療の現状と今後の対応は。

答 大変厳しい状況。市立病院に産科を開設するという目標に向けて医師の確保に努力していく。

した。フルーツ街道のダンプの縦列駐車については業者に対して強く指導をするとのことである。



大量の土砂が搬入されている柳久保の現場

一般質問

市民生活の安心・安全をめざして

日本共産党秩父市議団 齋藤捷栄

●国保広域化支援方針の現状と課題について

国保加入世帯の職業別構成は、2002年以来高齢無職と被用者割合が75%を超えている。世帯所得は1990年には240万円であったものが2010年には148万円にまで落ち込んでいる。原因は、高齢化と雇用破壊で低賃金の非正規労働者が大量に流入していることによる。そうした背景

下で、今、国保を広域化しようとする法改正がされ、埼玉県も後期高齢者医療制度と同様な広域化を図るため、広域化支援方針を策定しているが、その状況と秩父市における対応について伺いたい。

答 埼玉県市町村国保広域化支援方針は、国保税の規模別目標収納率の達成支援、国保税の賦課方式の2方式化への推進、保険財政共同安定化事業における対象医療費の拡大などとなっている。

秩父市国保は、ここ数年大変厳しい運営を余儀なくされており、将来にわたって国保の安定的な仕組み維持のために、保険税の2方式化について様々な検討を進めていかなければならないと考えてい

る。ただ、1人あたり保険税が他市に比べて低く抑えられている秩父市は、広域化により保険税負担が増加することも予想される。保険料をはじめとする県の方針についても、国の「国民会議」における議論の方向性や動向を踏まえて検討していきたいとの意向であり、現段階でははっきりとした状況は見えていない状況である。

秩父市国民健康保険証



秩父市国民健康保険証

◎議員定数に関する市長基本認識

新たな田村の土砂たい積問題

日本共産党秩父市議団 出浦章恵

問 田村地域で田嶋産業が行った土砂たい積の改善が完了していないにもかかわらず、新日本緑化建設が田嶋産業から買収した土地でたい積を行う計画があり、これまでの経過を見て同様の事が繰り返されないか。田嶋産業の改善状況はどうか。さらに先日、皆野町金沢の山林の建設残土の崩落で住宅2棟が全壊した。このようなことが絶対無いとは言えない。田村住民の生活の場の安心・安全の保障は。3千平方メートル以下で市の管轄となるが、今後の対応は。

答 田嶋産業には、県が超過たい積の是正を求め指導、勧告、報告徴収を繰り返している、秩父環境管理事務所が5回の現地調査で搬出車両が現実に土砂を搬出していることを確認した。11月16日の勧告で早期搬出と、引き続き毎月の搬出量の報告する事と改善勧告を行っている、定期パトロールを週1回行っている。引き続き撤去指導すると聞いている。市も協力する考え。

新たなたい積については、11月7日に事業者から事前協議書の提出にきたが、添付書類に不備があったため書類を返却した。その

後、12月4日再度、事前協議書の提出があり、市の担当者が一旦書類を預かり、現在内容を審査しているところである。

田嶋産業の問題や皆野町金沢の事例などから田村住民の不安感は十分理解できる。土砂たい積条例に基づき事務処理を行う。秩父市は水源地で環境立市であり、住民を守っていく考えである。



新たな田村地区のたい積計画地

一般質問

温泉リハビリ施設の開設について

金崎昌之

問 「秩父地域に温水歩行リハビリができる施設が無くて困っている」という話を聞く。一方、小鹿野町では「旧クアパレスおがの」を温泉リハビリ施設として再活用しようとの動きが始まっている。

答 ちちぶ定住自立圏に、この施設の再活用を支援しながら、圏域全体で利用できる仕組みを作ることが求められていると考えるが。

問 ちちぶ定住自立圏・ちちぶ医療協議会のリハビリテーション分科会で「温水歩行リハビリ」について協議をしていただくよう、働きかけていきたい。

●街コン1年の成果と課題と今後

問 行政として街コンの後方支援を表明して1年。レッドアローを使った「鉄コン」(2回)やスポーツを通じての出会いの場「きらめきスポ婚」、そして「秩父コンinばんば」等が開催された。その成果と課題、今後の取り組みは。

答 どの事業も課題は特になく、盛況のうちに実施できたと聞く。今後、後援や協力等の支援で地域活性化に寄与したい。

●地元中小零細企業支援について

問 期待がふくらむ大規模企業の誘致だが、一方で忘れてならないのは、厳しい経済状況の中で、地域の雇用や経済を下支えし、踏ん張っている地元中小零細企業の存在とその支援だと考える。求められている支援と、その対策は。

答 求められている支援は、人・モノ・金・情報等。今年度から企業支援策の再編成を行い、ニーズが高いものに重点を置く等に対応。



リハビリ体制の充実をうたう「ちちぶ定住自立圏の案内書」

子ども・子育て支援について

日本共産党秩父市議団 山中 進

問 子ども・子育て支援法は参議院の審議の中で多くの矛盾や問題点が明らかになっている。児童福祉法24条の「市町村の保育実施義務」から「子ども・子育て支援法」

「認定こども園法」「関連法律修正法」等に基づき、子ども・子育て会議の構成メンバーは。

答 保護者、市長、事業主、保育士、学識経験者からなる。

問 公立保育所の検討は、維持していくのか、民間保育園に対して委託、指定管理者制度の活用か。また企業参入を認めていくことは、保育環境を悪化させることにも繋がる恐れがある、市の考えは。

答 市町村の責任が曖昧になるとは認識していない。市立保育所の民営化や指定管理者は考えていない。また、企業参入は許さない。

問 新システムでは、市が保育の必要量と必要量を認定することになっているが、保護者の就労が基本とされる。また、県や市は国の基準に基づき条例化するが、子どもにとって必要な保育が受けられなくなる恐れがある、市の考えは。

答 国の基準より子どもの安全を配慮し、全ての子どもにとって最

善になるよう条例化したい。

●樹林(木)墓地の整備について

問 永代使用を前提としない人が増えている。夫婦だけの墓地やペットと一緒に、自然に囲まれ眠りたい、死してなお自分らしくありたいと思う人たちの為に整備できないか。

答 研究を重ね聖地公園の整備を行っていく。



くわの実保育園



聖地公園

議会の仕事、用語解説

【常任委員会】じょうにんいんかい
常任委員会は、議会で議決する議案等を専門的に審査する内部機関です。地方自治法により、常任委員会を設置することが定められており、条例で設置する委員会の数や委員数が決められています。

秩父市議会では4つの常任委員会を設置されており、各委員会が担当する分野に議案等を分けて、それぞれ調査、審査を行っています。また、議員は少なくとも1つ以上の常任委員会に属することが法律で決められており、議長が選任されます。

◆総務委員会（7人）

市長室、総務部、財務部、会計課、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、議会および、各総合支所の総務委員会に関する事項。

◆建設委員会（7人）

地域整備部、水道部および、各総合支所の建設委員会に関する事項。

◆生活産業委員会（6人）

環境部、市民部、産業観光部、農業委員会および、各総合支所の生活産業委員会に関する事項。

◆文教福祉委員会（6人）

健康福祉部、教育委員会、市立病院および、各総合支所の文教福祉委員会に関する事項。

【議会運営委員会】ぎかいうんえいいんかい

議会運営委員会は、議会が円滑に行われるために調査・研究などを行う機関です。その他に、議案等の審査も行っていきます。

委員数は、条例で8人と決められており、議長が選任されます。

具体的には、次の事項を調査することが法律で決められています。

- ① 議会の運営に関する事項
- ② 議会の会議規則や、委員会の条例などに関する事項
- ③ 議長の諮問に関する事項

【特別委員会】とくべついいんかい

特別委員会は、議会や市全体に関わる特別な事項等を、調査および審査するための機関です。

例えば、2つ以上の常任委員会に属する事項、特に重要であるため特別な構成員によって調査や審査を行う必要がある事項、各常任委員会に属さない事項などを調査、審査する場合に設置されます。

秩父市議会では、議会改革特別委員会や、市役所本庁舎及び市民会館建替え調査特別委員会などが設置されています。

ありがとうございました。

定例会本会議開催日に、議長席脇机に4種類の盆栽を置きました。提供していただいたのは、日本盆栽協会秩父支部の4人の方で、中村町の新井清さん、上宮地町の関根茂男さん、中村町の岩田亨男さん、相生町の宮城泰雄さんです。ありがとうございました。



岩田亨男さん提供



新井清さん提供



宮城泰雄さん提供



関根茂男さん提供

12月定例会に提供していただいた盆栽

編集後記

2013年、最初の議会だよりをお届けします。

昨年の12月議会は、平成23年度決算、市職員の勤務条件、荒川給食調理場の民間委託をめぐって、活発な議論が展開されました。これらの採決にあたっての討論には、総勢7人の議員が登壇し、反対・賛成それぞれの立場から、意見を戦わせています。その模様は、インターネット録画中継等で、ご覧いただけます。

議会最終日を傍聴された方からは、「委員長報告で広く全体の議論を聞けて良かった」とも言っていたいただきました。日頃から、議会に関心を寄せていただきまして、誠にありがとうございました。

まだまだ、寒い日が続きます。皆様、くれぐれもご自愛ください。

平成24年12月 金崎 昌之 記

編集委員

- 委員長 木村隆彦
- 副委員長 大久保進
- 委員 金崎昌之
- 委員 上林富夫
- 委員 新井豪
- 委員 山中進